

日本語学習におけるのドリル法の適用

MAN 2 ジョグジャカルタ高等学校

2017/2018 学年の記述的研究

イカ ヌルリズキヤティ

201500830043

本研究は、日本語の学習にドリル法をどのように適用するか、学習過程を記述しこととドリル法に対する生徒の反応を知るために行われた。

本研究では、定性的アプローチによる記述的研究方法を用いた。本研究のポプレーションは、MAN 2 Yogyakarta の一年生の学生であり、サンプルは、30名の lintas minat (理科系と文化科学)というクラスと19名の IBB(言語)というクラスを取った。データ収集は観察とアンケートを使用した。

観察の結果では、練習、暗記、反復(暗記練習)、代替訓練、変形訓練、そして応答訓練など基本練習がドリルメソッドに実装された。さらに、アンケートによって授業中では生徒が教師の指示をよし従い退屈などを感じていないと言った。

キーワード：アプリケーション、ドリル方法、語彙、日本語。

I. 序論

言葉は相手の感情、考え、意図を相手に伝えるコミュニケーションである言語学を勉強するにあたりは学生には聞く、話す、書く、読むという4つのスキルが必要とされる。4つの基本的なスキルをサポートするために最初に習得するのは語彙である。語彙は、さまざまな口頭や書面など様々な形で日本語コミュニケーションの円滑さをサポートするために考慮しなければならない言語の1つの側面であり、外国語を学ぶ上で最も重要な側面である。教育者が日本語で語彙を習得するのに有効な方法は多層ある。その1つは、学習方法と学習モデルを利用することである。教育者は、彼が達成したい能力に合うように教えたいときに使用される学習方法を適用しなければならない。この学習方法は、大学だけでなく、学校でもこのドリルメソッドを使用し、日本語を学習する際によく使用される。教育者が生徒たちに熱意を持っていることができれば、ドリル方法は効果的であると言える。しかし、実際には、研究者はドリル法を用いて日本語の語彙学習活動に参加することに対する熱意の欠如を見ている。教育者が長期間に渡って行われる練習だけで学習を提供する場合、学生は退屈になり、学習は学生によって容易に忘れられる。研究者は、ドリルの学習方法がうまく使えれば、ドリルの学習方法に飽きがなく、必ずしも単調ではないという注意を引き付けることができる教師の役割を感じさせる。研究者は問題に定式化を行う。日本語の語彙学習におけるドリル学習法の応用はどのようなものかとどのように学習語彙のドリル学習法を使用した後、学生は応答するか。そして、研究目的はこの研究を行う際に研究者が望む目標は、ドリル学習法を用いた日本語学習における学習プロセスの記述であるとドリル学習法を用いて語彙を学習した後の生徒の反応を知ることである。この研究を行う際に研究者が望む目標は、日本語の学習にドリル法を適用して学習プロセスを記述するとドリル法を用いて語彙を学習した後の生徒の反応を知ることである。

II. 本研究

A. データおよび研究の方法

1. 研究アプローチ

本研究は、定性的アプローチを使用する。本研究では、研究者が日本語で語彙を表現する演習で教師を観察する人として働くため、研究者は定性的アプローチによる記述的学習方法を使用した。

2. 研究のポプレーションとサンペール

本研究のポプレーションは、MAN 2 Yogyakarta の一年生の学生である。この研究のサンプルは、30 人の lintas minat (理科系と文科系)と 19 人の IBB(言語)である。

3. データおよび研究の方法

データを集めるために、観察とアンケートを実施した。この研究では、研究者は閉じたアンケートである。最初に、研究者は観察を行いした。そして、研究者は学生にアンケートを実施した。

4. 研究の観察時間

最初の観察は、2018 年 1 月 13 日にクラス X MIPA 2 で行われた。第 2 の観察は、2018 年 1 月 15 日にクラス X IBB (言語クラス)で行われた。3 回目の観察とアンケートの配布は、2018 年 1 月 17 日に行われた。最後のアンケートと観察は、2018 年 1 月 18 日にクラス X MIPA (理科系クラス)2 で行われた。

B. 分析の結果と考察

データ分析の結果から、本研究のドリル学習法は 98%のドリル法が日本語の語彙学習に効果的であり、ドリル法を用いた場合には退屈で幸せではなく、生徒の応答の 2%この方法を使用した生徒には自信がない。これは、研究者が学生に与えたアンケートの回答表である。

表 4 アンケートを答える

番号	質問	はい	いいえ
1	今日配信される資料は非常に明確か？	100%	0%
2	この練習には多くの練習がありますか。	98%	2%
3	今日の資料では、ドリルは日本語の語彙に理解していますか。	100%	0%
4	ドリルのメソッドは日本語の語彙が楽しいですか。	98%	2%
5	一緒に語彙を練習するのが好きですか。	98%	2%

6	先生が日本語の語彙を発音するための訓練をしている間、静かにしていますか。	4%	96%
7	この繰り返しのドリル学習の方法は、あなたが日本語を学ぶことが出来ますか。	96%	4%
8	このドリルの学習方法は、あなたが家族の言葉で日本語の語彙の意味を知ることが出来ますか。	94%	6%
9	あなたはドリルを学ぶこの方法を恥ずかしく感じていますか。	14%	86%
10	このドリル学習法は、日本語の語彙を正しく伝えることが出来ますか。	92%	8%
11	このドリルの学習方法は退屈だと感じましたか。	98%	2%
12	このドリル方法を使ってあなたの家族(kazoku)の名前を呼ぶことが出来ますか。	98%	2%
13	このドリルの勉強方法は、日本語で語彙の言葉に落ち込んでいますか。	96%	4%
14	あなたは教師からの質問に答えることが出来ますか。	94%	6%
15	このドリルを使って日本語の語彙を学ぶ意欲を感じていますか。	92%	8%
16	あなたは教材から教師の日本の質問を理解していますか。	92%	8%

III. 結び

データ分析の結果に基づいて、日本語の語彙を学習する際のドリル方法の使用は以下のように結論付けられる

- a. ドリル法の使用
 - a. 教師が選択した方法として、第 2 言語を教えることは簡単で効果的である。
 - b. この方法を使う目的は、生徒に日本語の語彙を覚えやすくすることである。
 - c. 本研究で用いたドリル法は、与えられた材料を学習者が覚えて理解することを目的とした訓練メモ練習法の一つである。
 - d. ミーティング I から IV まで、テーマは、ちちはスポーツがすきです。

- e. I～IV の会議では、最初に聴いてからドリル方法で練習を開始する。
- f. 教授活動の流れの中で、教師はこの学生を基本練習の道に訓練するか、または教える。
- g. 指導・学習の流れでは、「模擬運動」「思い出」「記憶」「実践」「訓練」「訓練」などの文章形態の理解を図ることを目的とした交換訓練、能力の確保を目的とした変形訓練学習者が語彙を文型に変えた後、質問練習（レスポンスドリル）は簡単な質問から難しい質問に尋ねたり答えたりすることを目的とした

b. 日本語学習における学生の反応

ドリル法を用いた学習活動への学生の反応は退屈ではなく、圧力を感じることはないが、生徒は気分が良い。ドリル法を使った発音練習では、学生は恥ずかしがらない気がしないが、一緒に演奏すると自信が感じられる。次に、ドリルの練習活動における生徒の反応は、学生に意欲を感じさせる。次に、教師が練習をしながら黙っているだけでなく、好きなように練習する。次に、ドリルの方法（ドリル）を使用するときの生徒の反応は、ドリル方法を使用し、学習に従う精神を感じる日本語語彙を学習する学生の精神に追加される。

学習の流れでは、練習、覚えている、繰り返す（暗記練習）、代替訓練、変形訓練、そして応答訓練など基本練習でドリルメソッドに実装された。さらに、アンケートによって授業中では生徒が教師の指示をよし従い退屈などを感じていないと言った。

参考文献

- Aini, Nurul. 2013. Penerapan Metode pembelajaran Drill Dalam Peningkatan Penguasaan Kosa Kata Bahasa Arab Pada Siswa Kelas Viii A Mts Negeri Pundong Bantul. Skripsi UIN Sunan Kalijaga. Yogyakarta: tidak diterbitkan
- Arifin Zainal. 2011. *Penelitian Pendidikan*. Bandung : PT Remaja Rosdakarya.
- Arikunto, Suharsimi. 2006. *Prosedur Penelitian Suatu Pendekatan Praktik*. Jakarta : PT. Rineke Cipta.
- Andri Wicaksono, dkk. 2015. *Teori Pembelajaran Bahasa: Suatu Catatan Singkat*. Jakarta : Penerbit Garudhawaca.
- Danasamita, Wawan. . 2009. *Metode pembelajaran Pembelajaran Bahasa Jepang*. Bandung: Risqi Press.
- Dinner, Lispridona. 2009. “ Pengajaran Bahasa Jepang Dengan Menggunakan Metode pembelajaran Audiolingual ”. *Kajian Jepang Konteporer*. Yogyakarta: UGM.
- Larsen, Diane and Freeman. 2000. *Techniques and Principles in Language Teaching*. London: Oxford University Press.
- Nana Sudjana & Ibrahim. 2006. *Penelitian dan Penilaian Pendidikan*. Bandung : Sinar Baru Algesindo.
- Rusman, 2011. *Seri Manajemen Sekolah Bermutu. Model-Model Pembelajaran*. Jakarta : PT Rajagrafindo persada.
- Sugiyono. 2015. *Metode pembelajaran Penelitian Kombinasi*. Bandung : Alfabeta, cv.
- Roestiyah N.K. 2008. *Strategi Belajar Mengajar*. Jakarta : Rineka Cipta
- Tarigan, Henry Guntur. 1989. *Metodologi Pengajaran Bahasa*. Bandung: Angkasa. D
- Wicaksono, Andri dkk. 2016. *Teori Pembelajaran Bahasa*. Yogyakarta: Garudhawaca